

郷だより

No.241

社会福祉法人大阪福祉事業財団
三島の郷

高槻市大字原924-4
電話 072-688-0768

今月の企画

- 1面 ひなまつり
- 2・3面 お別れのメッセージ
次年度にむけて
- 4面 トピックス



3月3日は「ひなまつり」、女性フロアのあちらこちらに、たくさんさんの装飾が飾られ、にぎやかになっていました。

医務室の前には、特大なお雛さんが登場、みんな

な目を引いていました。

昼食は、コロコロちらしすしで、大きなサイコロ風の海鮮(サーモン、ほたて)とちらしすしの組み合わせ、皆さん、美味しそうに食べていました。

めざすもの 改訂にむけて

11月号でお伝えしました、「めざすもの」(支援指針)改訂についてですが、ほぼ完成し、先日仲間の会の役員会、全体会で皆さんに、説明を行いました。それについての意見をもりました。

たくさんの人から、いろいろな意見がありました。今回、いただいた意見を参考に最終調整して行きます。4月号では、完成した新「めざすもの」を紹介致します。



えんじゅユニット
ファミレスでの外食
「けいも」ユニット



かりんユニットのどんこつ醤油鍋

2月から3月にかけて、ユニット取り組みとして、鍋物給食や昼食外出を行なっています。「おりーぶ」「かりん」「げっけいじゅ」ユニットは鍋を行ない、それぞれのユニットで何鍋にするのか、買出し、準備など役割を決めて取り組んでいます。

「おりーぶ」はカニ鍋、「かりん」は醤油豚骨、「げっけいじゅ」寄せ鍋をしました。

外出組は「うめ」は美人の湯へ、「きんもくせい」はお寿司屋さん



げっけいじゅユニット
寄せ鍋の下ごしらえ



ファミレスの
ドリンクバー



ノンアルコールで乾杯



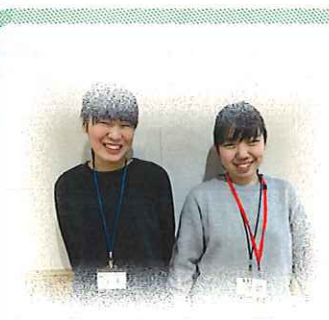
きんもくせいユニットでお寿司屋さん



うめユニット 美人の湯に温泉外出



おりーぶユニット
豪華なカニ鍋



滋賀短期大学 実習生

今回初めて知的障害者施設での実習をさせていただきました。私たちは今まで知的障害者の方たちと関った経験はなかった。最初は戸惑い不安でいっぱいでしたが、実習を重ねていくうちに利用者の皆さんとの関わり方や支援の仕方など多くのことを学ぶことができ、少しずつ自信へとつながりました。

学んだことを無駄にせず、この経験を活かして保育の学習にも取り組んでいきたいと思っています。最後にご指導ありがとうございました。

行事予定

- 3月25日 カレーシセル(浪速商事)
- 3月26日 サークル発表会
- 4月1日 辞令交付式
- 4月3日 オリエンテーション
- 4月9日 お花見弁当
- 4月9日 仲間の会会長選挙
- 4月17日 家族の会

一年間ご覧いただきありがとうございました。今後も記事内容充実のため皆さまのご意見をお聞かせください。

【広報担当 中谷・金城】



二〇一六年度に向けて

二〇一五年度は日課検討委員会を設け、来年度に向けた日課のあり方を検討してきました。

これまでは農作業班・園芸班・陶芸班・結びおり班・洗濯班・療育班・いきいき班という

七つの作業班に分かれて日中活動を行ってきました。最近が高齢化や身体機能が低下してくる方も増えて日常的なリハビリの必要性が出てきました。また青年期・壮年期の方にとっても、作業だけではなく「生きがい」に



つながる一人ひとりの個別の取り組みにも目を向けていかななくてはならない時期だと考えました。作業という集

団活動の中での役割とともに利用者の皆さん一人ひとりがどのような暮らしを作るのか、何を大切にしていくなかを考えてきました。

そこで次年度からは午前中はドライブ・散歩・創作活動・リハビ

リなど、利用者の皆さんそれぞれの個別支援に合わせた活動に取り組み、午後からは従来通り各作業班に分かれての活動に取り組むというように日課の変更を予定しています。

【日課検討委員会】

お世話になりました

このたび三月末日を持ちまして転勤することとなりました。まずは利用者の皆さんとの「暮らし」の中で様々な時間を共につくり、過ごすことができた事、心より感謝します。

四月からは大阪市旭区あさひ希望の里へ転勤となりますが、これまで利用者の方々と家族の方から学ばせていただいた多くのことを大切にしながらこれから出会う方と共にまた新たな「暮らし」をつくっていききたいと思っています。

尾山浩志



四年間という短い間でしたがお世話になりました。自分の未熟さや考えの甘さを感じ壁に何度もぶつかりながらも四年間働き続けられたのは、三島の郷に関わる皆さんに支えられ、助けて頂いたおかげです。温かい皆さんのおかげで四年前より確実に成長することができ、福祉の仕事を選んできた、良かったと感じています。ここで学んだ事、感じた事を生かしてこれから新しい道を進んでいきたいと思っています。四年間本当にありがとうございました。

梅野奈奈

三年という短い間でしたが利用者様やご家族様そして職員の皆様に支えられた日々でした。

未熟で至らないところもあり、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。それでも今までこの仕事を続けられたのは皆さまの優しさや励ましのおかげです。いろいろとお世話になりました。これから三島の郷で過ごした日々を新しく進む道に活かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

城井夏紀



長いあいだ医療分野で働き、そのあと縁があった当施設に入職しました。福祉施設では生活全般・人間まるごとの関わりが求められる奥深い分野です。毎日が学習でした。振り返ればあつという間の八年間で、その間に建物も新しい物に一変しました。

いつまでも四季折々の季節を味わえる恵まれた環境の中で、自然にふれあい伸び伸びと過ごせることを願っております。貴重な日々をありがとうございました。

戸崎綾子



時折洗濯場に手伝いに行ったり、他科受診の同伴、たけのこへの出向、A勤などで利用者さんたちとふれあうことが新鮮であった同時に、入院生活者しか知らなかった私にとっては施設で家族と離れて集団生活を送られている方々が想像以上に豊かな生活をされていることを知り驚きました。改めて看護の奥の深さを知らされました。このような施設で働くことができた事はとても幸せでした。本当にありがとうございました。

櫻井淑子